

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【公開番号】特開 2020-48736 (P2020-48736A)  
 【公開日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-013  
 【出願番号】特願 2018-179715 (P2018-179715)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】  
 【提出日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

遊技を実行可能な遊技機であって、  
 振動可能な振動手段と、  
 前記振動手段の振動制御が可能な振動制御手段と、  
 演出手段を用いた演出の実行を制御する演出制御手段と、を備え、  
 前記演出制御手段は、前記振動手段が振動するときに前記演出手段を振動対応態様に制御する第 1 演出パターンと、前記振動手段が振動するときに前記演出手段を振動対応態様に制御しない第 2 演出パターンと、を含む複数の演出パターンにより演出を実行可能であり、

前記第 1 演出パターンとして、前記振動手段の振動を強調する度合いが異なる複数の振動対応態様に演出手段を制御する演出パターンを含む  
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 1  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 1 1】

(手段 A) 本発明による遊技機は、遊技を実行可能な遊技機であって、振動可能な振動手段と、振動手段の振動制御が可能な振動制御手段と、演出手段を用いた演出の実行を制御する演出制御手段と、を備え、演出制御手段は、振動手段が振動するときに演出手段を振動対応態様に制御する第 1 演出パターンと、振動手段が振動するときに演出手段を振動対応態様に制御しない第 2 演出パターンと、を含む複数の演出パターンにより演出を実行可能であり、第 1 演出パターンとして、振動手段の振動を強調する度合いが異なる複数の振動対応態様に演出手段を制御する演出パターンを含む。

(手段 1) 他の態様に係る遊技機は、遊技を実行可能な遊技機であって、振動可能な振動手段 (例えば、パイプレータモータ 1 5 3 I W 1 3) と、振動手段の振動制御が可能な振動制御手段 (例えば、演出制御用 C P U 1 2 0) における、ステップ 1 5 3 I W S 0 2 0

で振動演出を設定し、ステップ S 1 7 2 を実行する部分 ) と、演出手段 ( 例えば、スピーカ 8 L , 8 R 、第 2 可動体 1 5 3 I W 0 2 ) を用いた演出の実行を制御する演出制御手段 ( 例えば、演出制御用 C P U 1 2 0 における、ステップ S 7 6 を実行する部分 ) とを備え、演出制御手段は、振動手段が振動するときに演出手段を振動対応態様に制御する第 1 演出パターン ( 例えば、K p 1 ~ K p 3 ) と、振動手段が振動するときに演出手段を振動対応態様に制御しない第 2 演出パターン ( 例えば、K p 0 ) とを含む複数の演出パターンにより演出を実行可能であることを特徴とする。そのような構成によれば、演出効果を高めることができる。